



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0021
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第273号

主の復活を祝おう

枝の主日からの聖週間は3月28日から始まります。

私たちは主イエスが十字架上で死にいたるまでの出来事を学んできました。教会は、ご復活の聖週間にもう一度思い出すように聖書を読みます。

しかし、このキリストの死からの復活ということ認めるのが、信仰に入るときの一番の関門でもあるのです。何人もの知人が、キリストの復活だけは信じられないと言って洗礼をあきらめたことを知っています。成人になって教会に来た人にとって、どんなに考えても無条件には理解できないことなのです。わたしも何度も同じように考えることがあります。

主の復活が信仰の中心にあることを、二人の聖人が述べています。

一人目は聖ペテロです。ペテロはイエス様と最後まで一緒にいましたから、イエス様がどうして捕らえられ、十字架上で死に、三日目に復活したのかをつぶさに見ていました。だからこそキリストの復活を広く伝えようとしたのでしょう。ペテロの最初の説教には次ぎのように書かれています。

『イエスを神は、お定めになった計画により、あらかじめご存知のうえで、あなたがたに引き渡されたのですが、あなたがたは律法を知らない者たちの手を借りて、十字架につけて殺してしまったのです。しかし、神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。イエスが死に支配されたままでおられるなどということ

は、ありえなかったからです。』(使徒言行録 2章23~24)

二人目は聖パウロです。イエス様が十字架につけられた頃のパウロは熱心なファリサイ派でした。キリスト教徒を迫害するために旅に出た時、復活した主に出会うのです(パウロの回心)。その後のパウロは各地へキリスト教を伝えるために旅をします。

『キリストは死者の中から復活したと、宣べ伝えられているのに、あなた方の中のある者が、死者の復活などない、と言っているのはどういうわけですか。死者の復活がなければ、キリストも復活しなかったはずで、そして、キリストが復活しなかったら、わたしたちの宣教は無駄であるし、あなた方の信仰も無駄です』(コリントの信徒への手紙Ⅰ 15章12~14)

イエス様が復活してから信仰に導かれたパウロのこの言葉は、迷う者の心に強く響きます。(岩本 記)

子どもたちのページ・・・・・・・・・・2面
 「神に感謝！みなさまに感謝！」・・3面
 委員会・典礼委員会議事録・・・・・・・・4面
 聖書講座の分かち合い・・・・・・・・5・6面
 レプトン会から・・・・・・・・・・6面
 教会学校のページ・・・・・・・・・・7面
 おしらせ・聖書への案内・・・・・・・・8面



子どもたちへのページ
ユダヤ人とは・・・イスラエル人の始まり

1がつ きたきゅうしゅう ちく きょうかいやくいん
1月に 北九州 地区の 教会 役員の
人たちがあつ いろいろ はなし
人たちが集まり色々な話をしました。

その時の話しは 召命と言うテーマで
した。どうして子どもたちが神父やシスター
にならないのかという話しもありました。

その時にでたのが、教会では難しい
言葉がたくさんあるので、子どもたちが嫌
になるという話しもありました。皆さんは
どうですか。難しい言葉がたくさんある
と思っっていますか。

この子どもたちのページは、皆さんにキ
リスト 教会 のことを知ってもらいたいと
思っか 書いています。それでも難しい話し
を書いたと、いつも反省しています。難
しい言葉をやさしく知ってもらうように、
これからも書くことにします。

今回からは、聖書の話にいつも出てく
る「ユダヤ人とその歴史」について書くこ
とにします。

聖書に出てくる人たちは、イスラエルの
民と言われました。どうしてそのようにい
われるようになったのでしょうか。イスラ
エルという名前が最初に出てくるのは
旧約 聖書の創世記にあります。創世記
32章の話です。

この話は、神様に導かれて国を出て
カナンの地にきたアブラハムから始まり
ますが、アブラハムの話は次の機会に書
きます。

アブラハムの子どもはイサクと言いま
すが、イサクの子どものヤコブの話です。

ヤコブは自分の家を出て旅に出ます。そ
こで好きな人がいたので結婚します。ヤコ
ブは羊を育てる仕事をしていましたので、
草が生えるところに、いつも旅をしていま
した。

ある日の夜、だれか分からない人がヤコ
ブのところにあられます。ヤコブはこの
人と闘うことになりました。その人はヤ
コブには勝てないと思ったのでヤコブの
足の腿の関節を打ったのでヤコブの関節
がはずれました。ところが、その相手の人
は神様でした。その人は夜が明けるので、
もう帰るといいました。

ヤコブはその人に「いいえ、祝福して
くださるまでは離しません」というと、そ
の人は「お前の名は何とのか」という
ので「ヤコブです」と答えました。

その人は「お前の名はもうヤコブではな
く、これからはイスラエルと呼ばれる。お
前は神と人と闘って勝ったからだ」とい
われました。

それからヤコブはイスラエルと呼ばれ
るようになりました。その後、聖書に出て
くる神に導かれた人々はイスラエルの
民といわれるようになりました。

「神に感謝！みなさまに感謝！」

森 一幸神学生

昨年の春から一年間、水巻教会で司牧実習をさせていただきました。教会ではミサでの侍者奉仕、中高生の堅信準備、そして中高生会の立ち上げに関わらせていただきました。

この一年で何か特別なことができたわけではありませんが、過ごさせていただいた時間は貴重なものがあります。その中で中高生との関わりは私にとって大きなものでした。

最初に堅信の準備をすることになりましたが、はたして話を聞いてくれるだろうか、どうすれば関心をもってくれるのだろうかと思案しました。結果、堅信の準備をするともに「生きる」ということをテーマに考えました。これはどの人にも、どんな世代の方にも共通するテーマであり、なおさら中高生にとってはこれから長く続く人生、本格的に向かい合うことになるものだからです。彼ら彼女らにとって何を目標に、何のために、何を大切に生きていくべきかということが、わずかながらでも伝わればよいと思いました。すぐに結果が現れる種類のものではありませんから、これから多くの人との出会いをとおして深められていければと願っています。

私自身も多くの人との出会いをとおして育てていただきました。その中でもやはり出身教会での体験が大きいです。神父さまをはじめ、信者さんとのよい出会いがあり、よい人たちにめぐり逢えました。その方たちをとおして、次々に沢山のよい人たちにめぐり逢うことができ、その結果キリストに出会うことができました。人は人と出会って人とされていきます。

出会いは大きな恵みです。水巻教会のみなさまとの出会いも大切にしていければと思っています。

福岡にはこの先二年間いる予定です。またどこかでお会いできたらと思います。見かけたらどうぞお声をかけてください。

最後に、この書面をお借りして中高生のみんなへ願うことがあります。

「どうぞ、やさしいことを身につけてください。やさしいだけでは駄目だと言われるかもしれませんが、やさしさを身につけることはすべてのことに繋がっています。

人との関係がやさしくなれます。人に安心を与えることができるようになります。それをとおして自分にもやさしくなれます。どんなことがあろうと、自分も安心できるようになります。すべてを耐え抜く力を生み、喜びや安心を得られます。」

一年間どうもありがとうございました。みなさまに感謝！
神に感謝！



委員会等報告

2010年2月分

2月度小教区委員会

2月7日

1、前委員会の議事確認

今後の活動予定

- ・2月13日(土)レプトン会主催の黙想会。
イエズス会 季神父。

2、議題

1) 維持費納入のお願い

1年以上未納の方に、納入振込み用紙を送っている。毎年2月をお願いしている。大体110通前後出し、返信があるのは1割位。今年は総会后、総会資料もつけて送ってみてはどうか、他にも冠婚葬祭時の連絡網も入れてはどうか等、意見が出ている。

2) 信徒総会

今年は5月16日第3日曜日ミサ後に行う。

3) 通夜マニュアルの件

やり方を検討する。

4) ハイチ被災者への支援

四旬節愛の献金と同時に行う。

5) 地区集会

①通夜の件、マニュアルをみて意見を募る。

②連絡網の確認

③総会前に地区からの意見を集める。

地区集会日程

3月28日：赤間・芦屋・梅の木

4月18日：高須青葉・海老津・遠賀

4月25日：折尾・中間・吉田

3、委員会から

①典礼委員会

- ・香部屋係り：聖具購入
香炉及びスタンダー式 10万円

・「はじめて教会へいらしたあなたに」の冊子を10部ほど購入し、置いてみる。

・通夜のしおりを50部増刷した。綴じ込みをお願いしたい。

4、これからの主な予定

①2月17日(水)灰の水曜日

水巻：午前10時

黒崎：午前8時15分 午後7時

②2月28日

ミサ後グループ代表の集まり

③黙想会

水巻教会は3月6日、7日の2日間。東京中央協議会の前田神父様。7日は共同告解。

④3月28日 枝の主日

⑤4月4日(日) 御復活

聖週間の時間は決まり次第連絡する

2009年度 第9回 典礼委員会議事録

1、年の黙想会(水巻教会)と共同回心式

3月6、7日 7日のミサ後共同回心式

指導司祭：前田万葉神父(長崎教区)

2、典礼委員会主催 「集い」について

呼びかけチラシは A4 カラー用紙にイラストを入れて印刷。疎遠になっている信者、信者が誘いたい未信者などの参加を期待。

3、聖週間聖歌練習ミサ後 10分程度行う。

4、納骨式のあと、聖歌を歌う件了承

5、四旬節の日曜日2月21日より9:30

より十字架の道行きを行う。

先読みはその日の司会担当者。

聖書講座の分かち合い

1月24日(日)小倉教会で北九州信徒協議会の2009年度第6回の聖書講座がありました。講師はバリオン神父様でした。お話は、聖書を文字通りではなく、シンボルを読み解く方法で進められました。書き留めたことをお伝えします。(報告 矢田)

【創世記3章 蛇の誘惑】蛇はカナンの女神のシンボルで「ずる賢い、真実でないもの」。神が食べてはいけないといわれた園の中央にある木の果実を食べると、『目が開け、神のように善悪を知るものとなる』とは、結果的に『自分たちが裸であることを知り…』人間としての限界を知ることになりました。神は『どこにいるのか』と声をかけられますが、神の「関わりたい、交わりたい」という姿勢が現れているそうです。エデンの園は、特定の場所ではなく、オアシスつまり「神との一致の象徴」だそうです。この話は「罪の根源」を考えさせる。神から与えられた知恵と自由意志をどう使うのか。人間は、神と同じように、善悪を自分で決めることによって、神の立場を奪ったのです。

後半の『彼はお前の頭を砕き、お前は彼のかかとを砕く』は、『子孫』=『彼』(イエス)は十字架上で(人に)命を与えたが、自分の命を奪われた。人間は自分の力で、前の状態に戻ることはできない。神とのかかわり合いがあれば、苦しみ、恐れはなくなる。

【ルカによる福音1章39～45】聖母のエリザベト訪問の個所は、「聖母への祈り」の場面ですが、ここでは、抜粋個所前後のルカ福音の構成に注目を促されました。

- ・洗礼者ヨハネ誕生の予告 1章5節～25節、イエス誕生の予告 1章26節～38節
- ・マリア、エリザベトを訪ねる 1章39節～45節
- ・洗礼者ヨハネの誕生 1章57節～66節、イエスの誕生 2章1節～20節

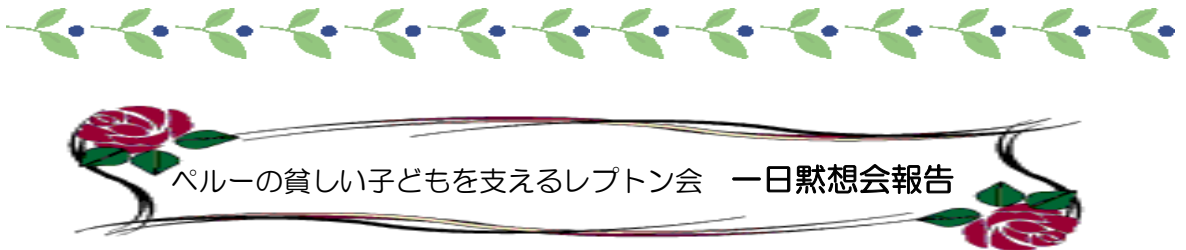
洗礼者ヨハネとイエス誕生のいきさつを対照的に取り上げ、中心にマリアのエリザベト訪問を置いている。老妻と未婚のおとめが、神の力によって、有り得ないような出来事の当事者となった。神の救いは、無報酬で与えられたことを考えさせるというものでした。

【マタイによる福音2章1～12】占星術の学者、マゴイ Magi (magus の複数) は、現在のイラン北部メド民族のゾロアスター教司祭で、夢解きをしていた。彼らは、神の意志を探し求めて天体の動きを観測していた。「星」は神・王のシンボル。「民数記」24章17節にバラムというマゴスの預言があります。『わたしには彼が見える。しかし、今はいない。…ひとつの星がヤコブから進み出る。ひとつの笏がイスラエルから…。』星を訪ねて異邦人のマゴイがイエスを探し求めて到来する背景が語られています。2人の王、イエスとヘロデは、本物の王と偽物の王です。

贈り物の『黄金、乳香』は、イザヤ60章6節に王、神への賛美の言葉となっています。『没薬』は死のシンボルで、イエスは命を与えることによって人を生かすことになりました。

【ヨハネによる福音 8章1～11】姦通の女を連れてきた律法学者やファリサイ派の人々が『あなたはどうかお考えになりますか』と訴える口実を得ようとしたとき、イエスはかがみ込み、指で地面に何かを書き始められた。しつこく問い続けられると、イエスは身を起こして『あなたたちの中で罪を犯したことがないもの（罪に縁のない人）が、まず、この女に石を投げなさい。』イエスはまた、身をかがめて地面に書き続けられた。

イエスを書いておられたのは、モーゼの律法といわれていましたが、十戒そのものを彷彿とさせるようです。ヘロデの息子ヘロデ・アグリッパは当時エルサレムの神殿境内を全面石畳にしたそうで、土面はなかったようです。「石の上に指で書く」は、出エジプト記 31章 18節にある『神の指で記された石の板』を思い起こさせます。『婦人よ、だれもあなたを罪に定めなかったのか。』『わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。これからは、もう罪を犯してはならない。』神はゆるし、チャンスを与える。神の愛は「ゆるす」に尽きるのです。）



ペルーの貧しい子どもを支えるレプトン会 一日黙想会報告

2月13日（土）下関・細江教会の李相源神父（イエズス会）に『ごめんなさい』と題して指導していただきました。参加者21名は「福音宣教とその分かち合いとは何か」を学び続けるために、一人ひとりがたくさんの心の糧を得ることができました、この小さな積み重ねが、私たち水巻教会共同体の「より一層社会に向けた活動」の原動力になりますように・・・との願いを込めて講話内容の一部ですが報告します。

「今 どこにいるの??？」

主なる神はアダムを呼ばれた「どこにいるのか。」彼は答えた「恐ろしくなり、隠れております」（創世記3章9～10節）

聖書に書かれている神は人にはじめて呼びかけました。今もわたしたち一人ひとりに呼びかけ続けておられます。身近にいる人を通して、又さまざまな出来事の中で神の声を聴き分けましょう。

『動物園』の意味を辞典で調べてみました。岩波書店辞典では「各種の動物を集めて飼育して一般の観覧に供する施設」（人間側からの視点で説明しています） 新明解辞典では「捕らえてきた動物を人工的環境と規則的な給餌（キュウジ）により野生から遊離し動く標本として都人土に見せる啓蒙（ケイモウ）を兼ねた娯楽施設」（動物側からの視点で説明しています、自分の国へ早く帰りたいと叫んでいることでしょう。）（7面下段へ続く）



教会学校のページ

2月14日

☆1、2年生

つみとは(テキスト16~18)

みんなでつみについて
考えました。

☆3~6年生

灰の水曜日のことについて

四旬節・復活祭について
今日の福音について



おしらせ

3月14日 予定通りあります。

3月21日 3学期終業式、6年生の卒業式、ミ二黙想会
ゆるしの秘跡(3~6年生)
終了後、6年生の卒業祝と茶話会

3月28日 初聖体親子準備・リハーサル
ゆるしの秘跡(初聖体クラス)

4月4日 初聖体式予定
(黒崎教会との関係で変更になることがあります)

(6面からの続き)

このように『動物園』という同じものを見ても、どの側に立つかで説明の内容が大きく変わります、あなたならどちらの説明を選びますか？

もう一つ『敵』の解釈です。岩波書店辞典では「自分にあだをするもの」とあり、聖書辞典では「神様から離れるように、わたしに働きかける人」になっています。「敵=私に対して害を与える人」に出会いどうしようもなく困った時「神様助けて!」と叫ぶわたしは神のもとに行っています。その人はわたしを神に近づけてくれたことになります。だから『敵』は存在しないのです、イエス・キリストは敵を愛しなさいと言われました。祈ることしかありませんね。

「今、どこにいるの」と呼ばれたら「はい、ここにおります」という答えができますようにと祈りたいものです。

報告者 レプトン会世話人 岩本ナセ



3月のおしらせ



★黙想会のお知らせ★

日時 3月6日(土)
14時~16時・19時~21時
3月7日(日)
10時~12時
主日のミサと共同回心式
があります。

指導神父 前田万葉神父(長崎教区)

★初聖体準備★

日時 3月28日(日) ミサ後
内容 初聖体クラス親子直前準備
打ち合わせ・リハーサル
初ゆるしの秘跡

初聖体クラスの親子で参加してください。

★特別寄付★

1月31日 児童福祉献金
39,200円
ご協力、ありがとうございました。

人-ひと

【洗礼式】おめでとう!

- ◇ 山田 蓮(れん)さん (吉田地区)
- ◇ 小倉 大暉(だいき)さん (中間地区)
- ◇ 小倉 綾華(あやか)さん (中間地区)

聖書への案内 No.8 ルツ記

古代イスラエルの田園詩的短編です。物語の舞台が麦の刈り入れ時のベツレヘムになっているので、元来は小麦の刈り入れが終わったときの祝いであった五旬祭にユダヤ教の会堂ではルツ記を朗読するそうです。

書かれたのは紀元前400年~350年ころとされています。

当時はネヘミヤやエズラの宗教的・社会的粛清のもとに外国人排斥の風潮が強かったのですが、この傾向に反対し、外国人に対する暖かい庶民的な生活感情を抱く少数の人々がいました。

この人たちの一人のルツを主人公とする物語を書いた小品です。

神は申命記にも異邦人に温かい心を示すよう命じています。ルツ記でも異邦人であるルツの貞淑と孝心、神に対する純朴な信仰とその報償を描いています。

ルツはイスラエルの偉大な王ダビデの曾祖母となりました。

マタイ福音書1章のイエス様の系図にもルツの名前が出ていますので見てください。旧約聖書はイエス様の時代には唯一の正典だったことが分かります。